

平成 22 年度大学教員業績評価実施結果報告

平成 23 年 3 月 17 日
筑波大学

I 大学教員業績評価の概要

大学教員業績評価については、「大学教員業績評価指針」が平成 21 年 5 月 21 日の教育研究評議会において決定され、平成 21 年度より実施することとなった。本評価は、今年度で 2 度目の実施となる。

1. 目的

- (1) 教員自らが自身の活動を客観的に分析し、活動の改善・質の向上を図る
- (2) 教員の活動に対する正当かつ積極的な評価による処遇への反映やインセンティブの付与
- (3) 評価結果の分析を通じた大学や各組織における施策への反映
- (4) 国立大学法人としての社会への説明責任

2. 実施体制

大学院博士課程研究科を評価の実施組織とし（ただし、人間総合科学研究科においては、「人間」、「体育」、「芸術」及び「医学」の 4 分野をそれぞれ実施組織とした。）、それぞれ、教員の自己点検・評価結果に係る評価の実施及び SS（極めて優れた活動内容）評価候補教員の選定等を行うため、部局等評価委員会を設置した。

なお、大学本部等において勤務する教員にあつては、評価を担当する副学長が評価を実施した。

また、SS 評価教員の認定等に係る検討・審議を行うため、教育研究評議会の下に、評価を担当する副学長及び部局等評価委員会の長により構成される大学教員業績評価全学評価委員会（以下、「全学評価委員会」）を設置した。

※評価の実施組織等

人文社会科学部研究科、ビジネス科学研究科、数理工学研究所、システム情報工学研究科、生命環境科学研究科、人間総合科学研究科(人間)、人間総合科学研究科(体育)、人間総合科学研究科(芸術)、人間総合科学研究科(医学)、図書館情報メディア研究科、大学本部等教員

3. 評価の方法等

評価の方法等の概要は以下のとおりである。

(1) 教員による自己点検・評価

教員は、自身の前年度の活動実績について領域ごとに自己点検・評価を行い、大学院博士課程研究科長（以下、「研究科長」）へ「大学教員業績評価自己点検・評価票」を提出した。

※評価領域

・「教育」、「研究」、「社会貢献・学内運営」（活動に応じて「診療、センター、附属学校」を追加。）
・大学本部等教員：任務とする「本部業務」

※評価の段階

S（平均水準を大きく上回っている）、A（平均水準を上回っている）、B（平均水準の活動内容である）、
C（平均水準を下回っている）

(2) 部局等評価委員会による評価

教員による自己評価の妥当性については、研究科長の責任の下、部局等評価委員会における評価において確認するとともに必要なコメントを付し、研究科長を通じて教員へ通知した。

(3) 全学評価委員会による SS 評価教員の認定

部局等評価委員会の選考を通じて、研究科長より推薦される SS 評価候補教員の中から、領域ごとに SS 評価教員を認定した。

4. スケジュール

平成 22 年 4 月	研究科長へ評価の実施について通知
7 月～	教員による自己点検・評価の実施
10 月	部局等評価委員会による評価の実施、SS 評価候補教員の選定
11 月	研究科長より SS 評価候補教員の推薦
12 月	全学評価委員会による SS 評価教員の認定、学長へ報告 SS 評価教員の認定について教育研究評議会へ報告
平成 23 年 3 月	平成 22 年度大学教員業績評価結果について教育研究評議会へ報告

II 大学教員業績評価の実施結果の概要

1. 評価実施者

評価対象者 1,578 人（平成 22 年 5 月 1 日）のうち、評価実施者は 1,535 人であり、評価実施率は 97.3%と昨年度より上昇した。

領域別実施者数

3 領域で評価を実施した者	1,004 人
4 領域で評価を実施した者	518 人

(注) 大学本部等において勤務する教員(13 人)を除く。

(注) 3 領域実施者は、「教育」、「研究」及び「社会貢献・学内運営」の領域で評価を実施した者。

(注) 4 領域実施者は「教育」、「研究」及び「社会貢献・学内運営」の領域のほか、活動に応じて「診療」、「センター」又は「附属学校」の領域で評価を実施した者。

2. SS 評価教員認定結果

全学評価委員会において、研究科長より評価の実施組織ごとに推薦のあった候補者の中から、推薦順位、領域及び職位のバランス等を考慮し、18 人を SS 評価教員として認定した。

【職位別】

職位	人数
教授	18 人
准教授	3 人
講師	0 人
助教	0 人
合計	18 人

【領域別】 (のべ人数)

領域	人数
教育	3 人
研究	9 人
社会貢献・学内運営	7 人
診療、センター、附属学校	3 人
合計	22 人

Ⅲ 2010年度 BEST FACULTY MEMBER 表彰（平成23年3月1日）

大学教員業績評価において、平成21年度における「教育」、「研究」、「社会貢献・学内運営」、「センター」活動等が特に優れたと認定された大学教員を対象として、その活動に敬意を表し、栄誉を称えるため『2010年度 BEST FACULTY MEMBER』として18名の大学教員に対して学長表彰を行った。

表彰式当日は、山田信博学長から表彰楯を授与した後、各教員より今回の表彰の対象となった業績について発表を行った。当該活動への理解を深めるとともに、それらの幅広い活動を通じて、大学として社会からの要請に応えていく重要性について、あらためて認識する機会となった。

評価領域	氏名	職位	所属
「教育」「社会貢献・学内運営」	青木 三郎	教授	人文社会科学研究科
「研究」	常木 晃	教授	人文社会科学研究科
「研究」	新井 誠	教授	ビジネス科学研究科
「研究」	宮崎 修一	教授	数理物質科学研究科
「研究」	山口 孝男	教授	数理物質科学研究科
「社会貢献・学内運営」	阿部 豊	教授	システム情報工学研究科
「研究」	伊藤 誠	准教授	システム情報工学研究科
「センター」	磯田 博子	教授	生命環境科学研究科
「研究」「社会貢献・学内運営」	渡邊 信	教授	生命環境科学研究科
「センター」	中田 英雄	教授	人間総合科学研究科
「社会貢献・学内運営」	松井 豊	教授	人間総合科学研究科
「教育」「社会貢献・学内運営」	岡田 弘隆	准教授	人間総合科学研究科
「研究」「社会貢献・学内運営」	日高健一郎	教授	人間総合科学研究科
「教育」	入江 賢児	教授	人間総合科学研究科
「研究」	大橋 順	准教授	人間総合科学研究科
「センター」	落合 直之	教授	人間総合科学研究科
「社会貢献・学内運営」	菓袋 秀樹	教授	図書館情報メディア研究科
「研究」	綿抜 豊昭	教授	図書館情報メディア研究科